



田村市立都路中学校 学校だより 第20号

令和6年9月20日（金）

発行責任者：校長 佐藤 仁

TEL：0247-75-2009

めざす生徒像：自らの志を語り、目標に向かって主体的に努力できる生徒

めざす学校像：志を育む学校 学び合い、高め合う学校 信頼され、愛される学校

新たな学びの機会となった都路志塾

毎年、総合的な学習の時間に、都路志塾（全学年対象）を開塾し仕事を通して社会や地域の発展に貢献している方を講師にお招きし講演を聴くなどして学びを深めています。

今年度は、阿武隈風力発電事業として風力発電機の建設に携わっている方に講演をしていただきました。東日本大震災や原発事故からの復興への思いを抱きながら仕事に臨んでいることや事業の概要、事業を進める上での困難な点などを丁寧にお話ししていただきました。

講演会后、主に3年生から多くの質問が出されました。担当の方も答えに窮するようするどい質問（風力発電機建設のために、どの程度の木が伐採されたか。風力発電機1機の建設に関わっている人は何人かなど）もあり、生徒の興味関心の高さがうかがえました。

講演会終了後は、担当の方々の案内で風力発電機の建設現場を見学しました。大きなクレーン車（日本に18台あるうちの1台）が使用されており、その大きさや風力発電機を間近に見た生徒の驚いた表情がとても印象的でした。グループ（学年縦割り編成）ごとに、建設に携わっている方の説明をしっかりと聴いたり、積極的に質問をしたりする姿がとても素敵でした。

今回の講演や現場見学を通して、働くことの意義を改めて考えたり、職業観を刺激されたりした生徒も多くいたと思います。将来、社会や地域の発展に貢献できる人材になるために、まずは日頃の学習や生活を大切にしていきたいと思います。



学校をよりよくするために

9月18日（水）、令和6年度後期・令和7年度前期生徒会役員選挙立会演説会及び投票が行われました。各立候補者は、都路中学校をよりよくするための具体的な取り組み（あいさつの励行、意見箱の活用、全学年参加型のレクリエーションなど）を堂々と発表しました。表現や方法の違いはあっても、立候補者の都路中学校を思うあつい思いが伝わってきました。聴いている生徒も真剣な表情で聴いていました。リーダーとフォロワーがしっかりとスクラムを組んで、一致団結して都路中学校、生徒会活動を盛り上げてほしいと思います。

